

函館山カメラ-番組制作と社会への発信-

Mt.Hakodate Camera - Production of programs and transmission to society

1015241 伊藤祐樹 Yuki Ito

1 背景

函館市には西部地区と呼ばれる場所がある。西部地区は函館を代表する観光地の1つであり、魅力が多くある場所である。中でも函館西部地区に存在している建造物群は「伝統的建造物保存地区」として国が認定した非常に歴史的価値の高いものとして認定されている。また函館西部地区に存在する計19の坂もそれぞれに由来があって面白い部分が多い。中でも八幡坂は観光客が写真を撮りに来るほど有名な観光スポットとなっている。また西部地区には「屋号」と呼ばれるものも存在している。屋号とは商家や農家につけられた称号のことであり、様々な種類がある。しかし現状ではこういった魅力を知らない函館の人々も多く存在している現状もある。また伝統的建造物や屋号の魅力をコンテンツとして発信している人は少ないことも今の現状である。

2 課題の設定と到達目標

こういった現状の問題を解決するために、私たちは主に2つの課題を設けた。

1つ目は、函館の西部地区にある伝統的建造物に関する映像を制作し、函館に住む人々に私たちの制作した映像を視聴してもらい、伝統的建造物についての理解とその魅力を知ってもらうことである。到達目標は、多くの人々に私たちの映像を観ていただくことである。

2つ目は屋号の魅力を伝えるための作品の制作を行い、それを人々に見たり体験したりしていただき、屋号についての存在とその魅力を知ってもらうことである。

3 課題解決のプロセスとその結果

映像制作では、函館の人々に私たちの映像を視聴していただくために、でんけんコンサートというイベントの前座で私たちの映像作品を上映できることになった。そのイベントに向けて私たちはまず初めに映像の企画を行った。話し合いの際、初めのうちは映像の内容を言葉だけで伝えていたが、それでは相手に内容がうまく伝わっていないという問題点が見つかった。そこで私たちは、相手に内容がしっかり伝わるように絵コンテを利用した。(図1)絵コンテは重要な内容を文字や絵として残しておくので、伝えたいことがしっかりと伝えられるようになった。この方法で私たちは多くの案を提案した。私たちはこうした様々な案の中から4つ選出し、函館市役所のでんけんコンサート関係者や函館でんけん保存会の方々に我々の映像内容のプレゼンを行

った。そして話し合いの結果、函館西部地区クイズ映像を制作することに決定した。そして私たちは夏季休業期間を利用し、西部地区での映像撮影と大学での映像編集を繰り返し行った。(図2)撮影当初、私たちは撮影機材のハンディカムを手を持って撮影を行っていた。その方法だと映像にブレが発生し、観ていてとても疲れてしまう映像となってしまった。それを解決するために、映像が動くシーンでは、スタビライザーという映像のブレを軽減させる機能をもつ機材を利用し、映像が動かないシーンでは、三脚を利用し、ブレを発生させないように撮影した。その結果、以前の映像よりも格段に観やすく内容も分かりやすい映像になった。編集作業ではAdobe Premiere Proソフトを利用し編集を行った。映像編集は各シーンごとにメンバーで分担して編集を行った。しかし、それが原因で字幕の色や字体がバラバラになってしまい、中途半端な映像に仕上がってしまった。周りからの指摘も受け、私たちは極力フォントを統一させ、より観やすい映像編集を心掛けた。また本映像では、ナレーションを利用した。そのため音声を録音する際、録音用のマイクを利用し、より聞こえやすい映像の制作を行った。何度も撮影と編集を行い、9月中旬に再び市役所を訪れ、私たちの途中経過の映像を視聴していただいた。そこでは想像していたよりも評判がよく、映像制作に自信を持つことができた。車ナンバーなどのモザイク補正を行ったほうがいい、冒頭部分でPVをつけてみると面白そうなどの指摘も頂き、でんけんコンサートに向けてモザイク補正を付け加え、PVも新たに制作した。担当教員やTAの方々にも映像を観ていただき評価を受け、コンサート当日まで改善点の修正を行った。そして10月7日に映像作品「函館〜でんけん発見〜」を上映することができた。(図3)当日はカトリック元町教会にたくさんの来場者にお越しいただき、私たちの映像を観ていただいた。映像上映中はクイズの答えを真剣に考えてもらえたり、上映途中で笑いが起きたり、反応がとても良かったように感じた。コンサート終了後、でんけんコンサート関係者の方々から、「映像が楽しくて時間がとても短く感じた。来年もぜひお願いしたい。」と評価していただき、アダム・スミス先生からも「とてもよかったです。」と感想を頂くことができた。

屋号の魅力を伝えるための作品制作では、私たちは市立函館博物館の方々と連携し、函館西部地区の屋号の魅力を伝えるための展示物制作を行うことに決定した。私たちは映像制作と同様に、展示物の企画を行った。最初のうちは、映像企画と同様に、内容を言葉だけで行っていたため、展示の内容をうまく伝えることができなかった。そこでホワイトボードや情報ブースの模型を積極的に利用し、相手に伝わりやすいように展示物の企画を考えた。話し合いの結果、私たちは屋号パネル、屋号はんに、西部地区パノラママップ、チラシ、屋号Webサイトなど様々な展示物を制作することに決定した。まず私たちは夏季休業期間を利用し、西部地区に存在する屋号についての情報を得るために、西部地区の屋号を持つお店を合計24軒取材を行った。そこで私たちはお店の持つ屋号の意味や由来、お店

の名前や由来、写真掲載の許可などを行った。取材を行う中で、訪問しても取材に応じてもらえなかったり、お店の主人の方が留守であったり、すでに営業が終了しているお店が多く、取材場所を探すという時点でとても苦労をした。しかし、屋号が密集している地域を調べたり、4人を2手に分担するなど作業の効率化を図り、取材を行った。そうして得た情報を博物館の展示物制作に利用した。屋号パネルでは計24軒の屋号とお店の名前、お店の沿革などを壁全体に貼り付け、来場者の目に留まりやすいように工夫した。(図4)屋号ハンコでは屋号の読み方のみ書かれている紙に屋号の形を予想してはんを押すというクイズ形式のものを制作した。(図5)屋号Webサイトでは、博物館外でも私たちの調査した屋号の情報が知れる事を目的に制作した。10月13日に博物館の展示ブースに我々の制作物の展示を行い、10月14日より展示の一般公開が開始された。来場者からは「とても懐かしいものを見てよかった。」「面白い展示作品だ。」と評価を頂く事ができた。(図6)また、北海道新聞夕刊「みなみ風」に私たちの作品について取り上げてもらった。(図7)



図2. 西部地区での撮影の様子

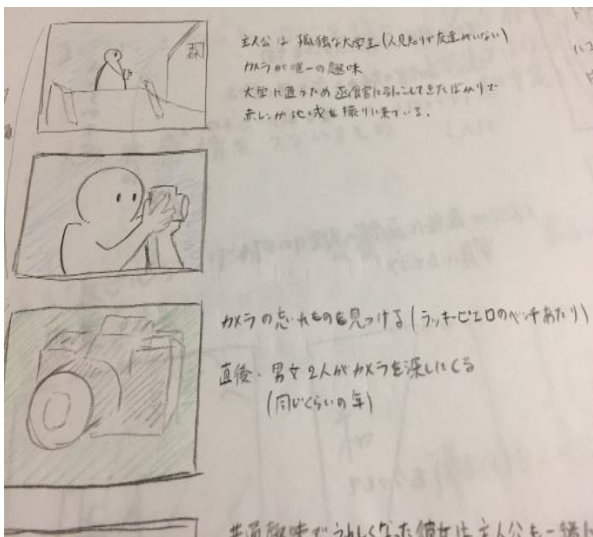


図1. 映像や展示物を企画する際の絵コンテの例



図3. でんけんコンサートでの上映の様子



図 4.屋号パネル

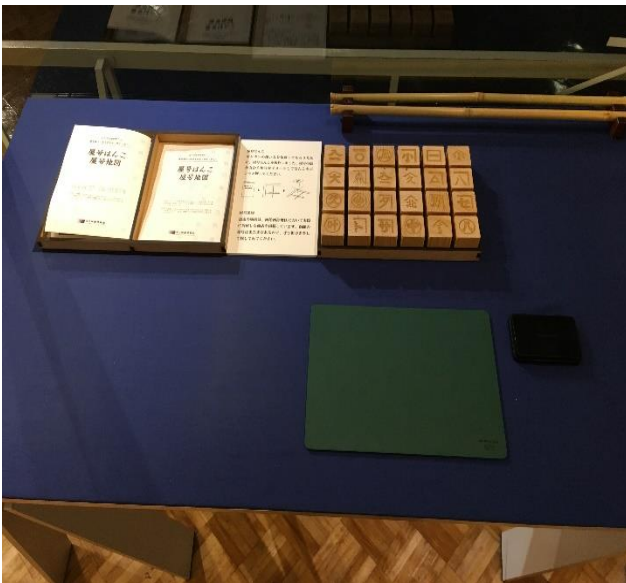


図 5. 屋号はんこ



図 6. 博物館展示ブースの中の様子



図 7.北海道新聞「みなみ風」に取り上げられた際の項目

4 今後の課題

映像制作では、でんけんコンサート関係者および視聴された方から、「映像が面白くてとても短く感じた。もっと見ていたかった。」「とてもクイズが楽しかった。」などのコメントを頂けた。しかし、それは口頭で言っただけで、私たちから進んでアンケート調査を行ったり、何らかのデータに残すなどの行動を行わなかった。そのためあまり確たる証拠のない成果となってしまった。こういった行動を行ってれば、もっと明確な成果として残すことができたと感じた。満足のできる映像を制作できた分、そういった面で反省点が残った。

また、函館西部地区の魅力を伝える映像内容は多くある。今回私たちは西部地区の魅力をクイズ形式で伝えることをテーマとしたが、西部地区の魅力をPV風に制作したり、ドラマ風に制作しても面白いと感じる。今後多くの映

像を作り、人々にそれを観ていただき、西部地区の魅力をさらに知ってもらうことも今後の課題である。

博物館展示物制作では、展示開始当日、展示ブース来場者の動きをマップに書き写し、どういった動きをするのか、どこを集中的に見るのかを調べた。そこで私たちははんこの制作物に興味を持ってもらえている事や、屋号パネルのお店の由来や屋号の由来を読んでもらえる方が多いことが分かった。また情報ブースの説明の書かれたキャプションを見ている人が少ないことも分かった。原因を考えたところ、文字が小さくて見えずらいことが問題だと仮説を立てた。また次第とはんこがインクで汚れてしまっていることも現状の問題である。キャプションの改善や、汚れにくいはんこを再度作り直してブースに展示することが今後の課題であると考ええる。

参考文献

- [1] 中野恒. 函館の建物と街並みの変遷 都市再生のヒストリー. 凸版印刷株式会社. 2013
- [2] 阿部信行. Premiere Pro & After Effects いますぐ作れる! ムービー制作の教科書. 技術評論社. 2015
- [3] 函館市公式サイト.
<http://www.city.hakodate.hokkaido.jp>
- [4] 函館市公式観光情報サイトはこぶら.
<http://www.hakobura.jp>
- [5] 箱バル不動産. <http://hakobar.com>
- [6] 市立函館博物館. <http://hakohaku.com>
- [7] After Effects チュートリアル.
<https://helpx.adobe.com/jp/after-effects/tutorials.html>